

喜多流 第43回

中尊寺 薪能

6月1日(水) チケット発売開始

令和4年8月14日(日)午後4時半始
中尊寺白山神社能舞台

祭儀
火入之儀

仕舞

田村キリ 肉田成信
高野物狂 佐々木宗生

和泉流

孫智 野村万作
野村裕基

アド・男

一七・五〇

シテツレ・天女 佐藤寛泰
シテツレ・姫 大島輝久
子方・浄見原天皇 佐々木美緒
後シテ・蔵王権現 佐々木多門
前シテ・老人

能 国栖 常好

ワキツレ・興泉 館田善博
ワキツレ・興昇 梅村昌功
アイ・追手の兵 野村萬斎
アイ・追手の兵 破石晋照

終演予定 一九・〇〇頃

会費 薪能観能券

S 一〇、〇〇〇円
A 七、〇〇〇円(当日八、〇〇〇円)
B 四、〇〇〇円(当日五、〇〇〇円)
学生 三、〇〇〇円

お申込み 中尊寺薪能の会 電話(〇一九二)四六一二二一〇

※雨天も催行(見所屋根一部架設) ※写真撮影・録音・録画不可

〈喜多流〉中尊寺 薪能

—二六・三〇—

祭儀 白山神社宮司
火入之儀 薪能奉行

仕舞 田村キリ 内田成信

高野物狂クセ 佐々木宗生

地謡 金子敬一郎 友枝真也
長島茂 友枝真也

和泉流 狂言 孫 智

アド・舅 石田幸雄
アド・太郎冠者 月崎晴夫
シテ・祖父 野村万作
アド・智 野村裕基

後見 破石澄元

—一七・五〇— (休憩)



写真「孫智」万作の会提供

能 国 栖 常好 野村昌功

シテツレ・天女 佐藤寛泰
シテツレ・姫 大島輝久
前方・浄見原天皇 佐々木美緒
後シテ・蔵王権現 佐々木多門
前シテ・老人

ワキ・供奉臣下 森 常好
ワキツレ・輿舁 館田善博
ワキツレ・輿舁 梅村昌功
アイ・追手の兵 野村萬齋
アイ・追手の兵 破石晋照

大鼓 亀井洋佑 太鼓 小寺真佐人
小鼓 森 貴史 笛 一噌隆之

後見 塩津哲生 塩津圭介 友枝雄人
中村邦生 地謡 金子敬一郎 長島茂
内田成信 出雲康雅
友枝真也 狩野了一

—終演予定 一九・〇〇頃—



仕舞

「田村キリ」

清水寺の観音の助力によって夷狄に勝利した坂上田村麻呂の霊は、地主権現の花の下、その奇瑞を讀める。

「高野物狂クセ」

主君の遺子を探ねて男物狂の姿となつてさすらい出た高師四郎は、高野山に登り、森厳なる靈地を讀えつつ舞う。

狂言

「孫智」

今日初めてたい智入り(結婚後初めて智が妻の実家へ挨拶に行くこと)の日。舅と太郎冠者は、日頃何かと口うるさい祖父を外出させ、そのすきに祝儀を済ませてしまおうと策を練る。それを聞いた祖父は怒り出し、結局同席することになる。いよいよ智がやってくる、大張りきりの祖父は、舅そつちのけで盃事に口を出し...。祖父まで登場する珍しい智入り狂言です。華やかなめでたい雰囲気の中で、デフォルメされた老人の振舞いが効果的に描かれています。

能

「国栖」

のちに浄見原天皇(きよみはらのてんのう)天武天皇の別名)となる大海人皇子は、大友皇子の兵に襲われて、吉野の国栖の里へ逃げ込む。里の老人夫婦は寝蓍と鮎でもてなし、食べ残された鮎で将来を占う。やがて襲ってきた追手を老人の機転で危難を脱して一命をとりとめる。

吉野の里人の恩に深く感じている一行の前に、美しい天女が舞を舞って祝福し、さらには蔵王権現も来現して王位の守護を約束する。

古代の伝承に基づき、物語性と能の舞踊性を活かした痛快で迫力ある作品です。

表裏「国栖」使用写真 佐々木宗生 所演

本公演はガイドラインを踏まえ対策を施しております。

ご来場を戴く皆様へお願い

- * 飲食や大声の会話はお控え願います。
- * マスクの着用と手指消毒を願います。
- * 体調のすぐれぬ方はお控え願います。